

平成 25 年度第 3 回行政改革推進委員会 記録

【開催日】 平成 25 年 1 月 16 日（月）午後 1 時 30 分～午後 4 時 10 分

【場所】 下呂市役所 3 階 第 1 会議室

【出席者】 委員 神戸 久委員、谷口美都子委員、中島真貴子委員、中島ゆき子委員、
無笹悦臣委員、堀田秀行委員
(欠席：岩垣美雪委員、熊崎洋司委員、小瀬恵美子委員、田立 卓委員、
中島政彦委員、森川範江委員)

執行部 野村 誠市長

事務局 熊崎武司総務部長、星屋昌弘総務課長、杉山勝彦主任主査

【進行】 会長

【配布資料】 レジメ 第 3 回下呂市行政改革推進委員会次第
諮問書「第 3 次下呂市行政改革大綱の策定について（諮問）」
資料 1 第 3 次下呂市行政改革大綱（案）取組みの事例
資料 2 第 2 次下呂市行政改革大綱について（答申）
資料 3 第 3 次下呂市行政改革大綱策定までのスケジュール

【協議・報告結果】

- 1) 第 3 次行政改革大綱（案）の諮問を受け、答申を行う。
- 2) 大綱（案）に対する市民意見（パブリックコメント）を求め答申の参考資料とする。
- 3) 委員は、大綱（案）に関する不明点を事務局に照会しながら意見をまとめ、1 月末日までに事務局に提出する。
- 4) 事務局は、委員や市民の意見を整理し答申の原案を作成し、次回委員会に提出する。
- 5) 答申は、平成 26 年 2 月 21 日午後 1 時 30 分とする。

【市長あいさつ要旨】

- ・平成 16 年度に策定した第 1 次行政改革大綱は、合併新市の礎づくりとして位置づけられ、新市の基本的な仕組みづくり、職員の意識改革を進めてきた。
- ・平成 21 年度以降は、第 2 次行政改革大綱に基づき「市民に必要なサービスが提供できる行財政運営システムの構築」をめざし、簡素で効率的な行政運営、行政と市民との協働によるサービス提供に取り組んできている。
- ・皆さんご承知のとおり、当市の主要財源である地方交付税は、合併特例により増額交付を受けているわけですが、平成 26 年度からその増額交付が段階的に減ってくる。また、少子高齢化に伴う人口減少や高齢化社会の進行により、依然として大変厳しい行財政運営に迫られている。
- ・ここで、もう一度原点に立ち返り市民との協働を進め、「地域力を生かした新しい下呂市の自治体運営」の形成をめざす。
- ・行政が行わなければならないことは行政が責任を持って行い、一方、市民が担うことで効果的に機能するものについてはできる限り市民の方に担っていただくこと。「市民の立場でできることを行い、行政と協力し合って地域の課題に取り組む」という「市民の参画と協働」を積極

的な展開を進める。

- ・もう一つは、まさに来年度、地方交付税の段階的縮減期間が始まり、人口減少による税収減もあって平成31年度には今から約30億円減るということで健全な行政運営が継続できる財政基盤を築くことである。
- ・現在市役所では、行政組織の見直し、368ある公の施設の見直しを進めており、また庁舎の一本化も考えていかなければならない。
- ・今後も行政改革を進めていかなければならず、市民の皆様にとっても大変厳しい改革を迫らなければならないが、ご理解とご協力をいただきたい。

【行政改革大綱諮問】

市長 下呂市行政改革推進委員会設置条例第2条の規定に基づき、第3次下呂市行政改革大綱の策定について諮問する。

会長 承知した。

【発言要旨】

(1) 第3次下呂市行政改革大綱について

- 委員 基本方針Ⅰ 持続可能な財政基盤の確立に向けた財政運営の改革の3補助金等の見直しの、補助金と交付金の違いは。
- 事務局 補助金は目的がありその目的を行った場合にお金を助成するものであり、どういった経費に使うといった制約がある。一方、交付金は複数の事務をお願いし、それに見合うお金を助成するもので、助成したお金の範囲内で事務を行ってもらえば良く、お金の使い方に制約は少ないものである。
- 委員 地域一括交付金化を視野に入れた見直しを行うとあるが、地域とは具体的にどこを指すのか。
- 事務局 具体的な部分を含めて、これから交付金制度を検討していく。
- 委員 今、交付金はどういうものがあるのか。
- 事務局 自治会（区）へ交付している自治活動交付金がある。
- 事務局 地域一括交付金とは、自治活動交付金よりもう少し幅広い範囲で交付する。
例えば、防犯灯の設置や防災備品の購入をこれまで通り、それぞれ個別の申請により補助金として出すのか、地域毎に必要な場所とか必要なものとかが違ってくるので、交付金として助成することで、地域によって防犯灯はいらないが、防災力は強化するといった地域で考えて使ってもらった方がよりよい助成になるというものである。
- 委員 防犯灯もLEDにすれば電気代が安く済むわけで、それを自治会等で考えて設置できるということである。
- 委員 6安定した財政基盤の構築では、財政基盤を構築するにあたっては、決算の内容を即予算に反映することが大事である。なかなか行政は予算に反映していない。
- 委員 基本方針Ⅱ 効率性・機能性を重視した組織の改革では、1経営効率を図る組織・体制として、振興事務所は必要最低限の市民窓口業務とするとあり、4市民や地域を育てる組織では、振興事務所は地域づくりの拠点とするとある。一体どちらに向かうのか。
- 事務局 どちらにも向かう。市役所でしかできない証明書の発行などは振興事務所の業務として残

していきながら、今、地域力が見え始めてきているところで、そのテコ入れをして地域の団体を強化していく役割を担うものとする。また、これからは市民が必要とするときは本庁組織に足を運んでもらうのではなく、市役所から出向くといった行政運営を目指す。

- 委員 大綱に基づき計画を今後実施していくことになるが、実施計画では「検討」ではなくアクティブに進める計画としていただきたい。
- 委員 大綱では、何年度までにこういうことをやります。といった書き方はしないのか。
- 事務局 大綱は指針であり、この大綱に基づき行う具体的な計画は、実施計画で定める。
- 委員 実施計画では、（大綱期間）5年間の目標を定め、年度ごとにどこまでやるかを計画し、進捗管理していかないといけない。
- 委員 下呂市の人口規模などから第2次行政改革では同類の瑞浪市くらいまで財政規模を縮小させることが必要であると言っていたが、なかなか財政規模が小さくならない。その要因は、公債費と繰出金で60億円近くあるということである。そしてこれが平成30年度まで同じ規模で継続する。市債発行を抑制するルールが必要である。

また事務・事業の棚卸が必要。市民のニーズは総合計画に現れるわけで、その計画をビジョンや政策目標、優先順位を付けて実施する「戦略マネジメント」が必要である。選択した事務・事業の計画には数値目標を定め、後に目標及び成果（結果）に基づいた評価によって、次の計画・方針への仮説を立てて必要に応じて対策を検討し、また計画を見直す。そのPDCAサイクルが大事である。

また計画には、市役所職員が成果の追及を目指して自発的に自らが率先して、改革を推進しようとする行動を引き出すものとして、改革イニシアティブが必要で、そのため人事考課や自己啓発の奨励を図っていかなければならない。

- 委員 現在の財政シミュレーションに加えて、施策の実施した仮説に基づいた財政予測分析も必要である。例えば、広報紙は市民全てが必要なわけでもなく、希望者だけに配布したらいくらか削減できるかなど財政分析が必要。
- 委員 行政運営にも発想の転換が大事である。例えば遊休地を使って太陽光パネルを付けて売電するといったことを考えるのも歳入を確保する施策と考えられる。しかもその下でキノコを育てているといった事例もある。最初からできないと諦めるのではなく、考えられるものの意見を出して専門家にも入ってもらいながら検討していくことが大事。
- 委員 ひとつのお金で完結してしまうのではなく、複数の価値を生み出す。これがこれからの行政にも求められる。
- 委員 下呂市と瑞浪市のホームページを比較してみた。編集パターンでは、下呂市はお役所目線、縦割り組織別機能、リンク先が少ない。一方瑞浪市は住民・市民目線で編集されており、アクセスもしやすい、リンク先が多い。情報発信では、下呂市が行政の情報が中心であり住民支援の情報は限定的、リアルタイム性に欠けている。瑞浪市では行政情報に加えて住民支援情報が豊富であり、キーワードごとに情報が集約されている。

また、行政改革大綱をアクセスしてみた。瑞浪市の行政改革大綱へは3クリック10秒以内で目的達成された。下呂市の場合は、試行錯誤でファイルを開いていった結果、探し当てた。所要時間が5分以上かかった。

結論として、顧客第一主義に立ったコンテンツ（住民目線の情報発信、行政手続き・伝達情報は一箇所に集める、観光客など利害関係者への情報発信、リンク先をつくり下呂市全体の情報発信）、利便性の向上（アクセル手段を簡素化、住民目線を考慮した編

集・ツリー型情報構造)、双方向のコミュニケーションの促進(住民からの情報収集の機会の増大)からの再構築が必要である。

- 委員 行政改革は、若い職員からなるプロジェクトチームを設置するなどして、大綱を確実に実施して欲しい。

(2) パブリックコメントについて

- 委員 パブリックコメントでは意見募集が期待できない。委員の皆さんのつながりで意見募集できる取り組みをできたらしていただきたい。
- 委員 意見募集手続として行政モニターの設置を検討していただきたい。